

# 学校文化における 組織内地図の生成過程に関する考察 ～新任者の ALACT モデルによる省察活動を通して～

教育実践高度化専攻 学校マネジメントコース

氏名 佐藤 裕一

学校組織を正常に機能させるためには、一人一人の教員がそれぞれの能力を生かして生き生きと教育活動を行えるようにする必要があり、組織としての学校文化を構築していくことが、教育現場の今日的課題であると考えます。本研究では、愛知教育大学附属岡崎中学校に新たに赴任した教員が学校文化を理解し、維持・継承・発展させていく過程について考察しました。組織学習に関する研究において安藤史江が提唱する「組織内地図」に注目し、新任者が学校文化における組織内地図を生成する過程を明らかにすることを目的とした。手だてとして、F・コルトハーヘンが提唱する ALACT モデルによる省察活動を参考にし、新任者が気兼ねなく話し合える場として座談会を開催し、新任者が語る言葉や振り返りに注目して変容を追った。

本研究の成果としては、以下の二点が挙げられる。

- ・ 組織内地図は心理的安全性の確保を基盤として、段階的に生成されることが明らかになった。
- ・ ALACT モデルと組織内地図には親和性があり、組織内地図の生成過程は、学習者と支援者のダブルループ構造で示すことができる。